

教育のバリアフリー、そして バリアフリーの教育

東京大学に、バリアフリー支援室、先端科学技術研究センター・バリアフリー系に続き、この4月、教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センターが発足しました。このセンターの開設を記念し、広く市民の皆様とともにバリアフリーと教育について考えるフォーラムを企画いたしました。多くの方々の参加をお待ちしております。

日時

2009年6月20日(土)
13:30~17:00(開場12:30)

場所

 **東京大学**
THE UNIVERSITY OF TOKYO 安田講堂
文京区本郷7-3-1 (Tel 03-5841-1406)

先着
800名

■プログラム

13:45~14:30

基調講演 『教育のバリアフリー化が社会を変える』



福島 智

(東京大学先端科学技術
研究センター教授)

9歳のときに失明、18歳で聴力を失い「盲ろう者」となったが、両手の指先を点字タイプライターの六つのキーに見立てたコミュニケーション方法「指点字」を母親と共に考案。盲ろう者として日本初の大学進学、世界でも希有の大学教員となる。現在は、東京大学先端科学技術研究センターにおいて、バリアフリー論及び障害学の教育研究に従事するとともに、盲ろう者を含めた障害者の福祉増進を目指す社会的活動に取り組んでいる。

14:30~15:00

休憩 『ピアノ演奏』 東京大学ピアノの会ほか

15:00~16:45

パネルディスカッション テーマ: 『教育のバリアフリー』

座長



川本 隆史

(東京大学大学院
教育学研究科教授)



白石 さや

(東京大学大学院
教育学研究科教授)

パネリスト



小山内 美江子

(脚本家)
—学校のバリアフリー—



成田 真由美

(パラリンピック・
水泳金メダリスト)
—スポーツのバリアフリー—



木下 晋

(画家)
—美術のバリアフリー—



中邑 賢龍

(東京大学
先端科学技術研究センター教授)
—テクノ社会が生み出す障害とバリアフリー—



伊藤 啓

(東京大学
分子細胞生物学研究所准教授)
—色覚のバリアフリー—

申込先

ハガキ及び
ホームページで
受付けます。

1.氏名(フリガナ) 2.住所 3.電話番号 4.車椅子ご使用の有無
5.車椅子をご使用の場合で、他に同行される方がいらっしゃる場合の人数
6.その他 ご要望・ご連絡(点字資料の希望など)をご記入ください。
定員800名(定員になり次第、受け付け終了とさせていただきます。)

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
Tel:03-5841-1406(月~木 11:00~16:00)
東京大学大学院教育学研究科附属
バリアフリー教育開発研究センター
<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/cbfe/>

主催：東京大学大学院教育学研究科
共催：毎日新聞社

後援：日本製薬団体連合会
協力：東京大学バリアフリー支援室、ペーパーメントウェブ実行委員会